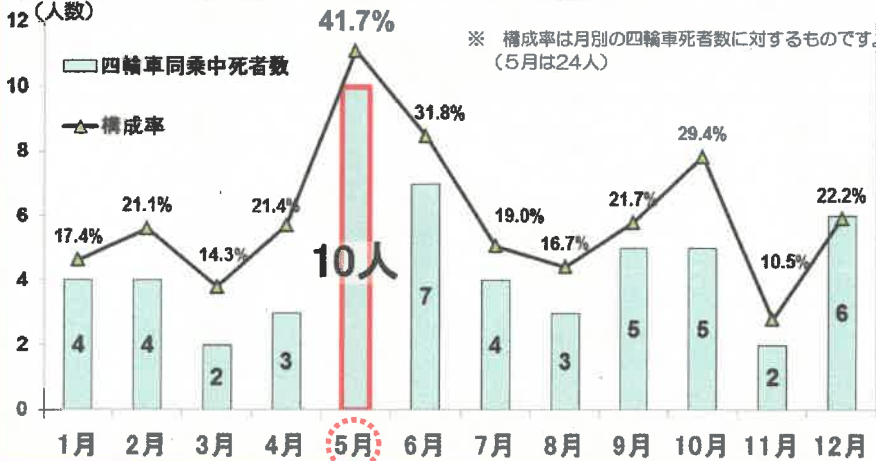


交通事故防止のPOINT

※ 過去5年（H26～H30）に愛知県において発生した交通死亡事故等を分析した結果です。

クルマ同乗中死者が年間最多

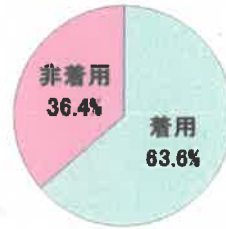
■ 月別の四輪車同乗中死者数と構成率



5月

四輪車同乗中死者のシートベルト着用状況

※ 過去5年四輪車同乗中死者55人の状況



3割以上がベルト非着用



同乗者について、シートベルトを着用しない場合の致死率は、着用した場合の4.6倍です。

※ 過去5年の愛知県における状況。致死率=死者数/死傷者数×100

飲酒運転による人身事故多発

■ 過去5年 月別の飲酒人身事故件数



4月と比べて約2割増加。12月に次いで多い。

5月の飲酒事故運転者年齢層別ワースト

- 1 20歳代 29人(28.3%)
- 2 40歳代 25人(24.8%)
- 3 30歳代 19人(18.8%)

飲酒運転は「犯罪」

飲酒運転による死亡事故率は、飲酒なしの8.3倍です。

※ 警察庁の分析資料から引用

5月は大型連休があり、レジャー等で自動車で外出する機会が増えると思われませんが、他方、同乗者が死亡する悲惨な交通事故が最も多く発生しています。運転される際は、後部座席の同乗者を含めて、全員のシートベルトの着用を確認してから出発するとともに、漫然運転とならないよう長時間の運転を避けて適宜休憩するなど、一層の安全運転に努めてください。

また、飲酒運転による人身事故が多い月であり、県警察では飲酒運転の取締りを強化しますが、職場や地域で飲酒運転を助長することのない環境を作り、飲酒運転を根絶しましょう。

